

# 平成25年3月期 第2四半期連結決算概要

平成24年10月31日  
住友化学株式会社

(単位：億円)

## 1. 業績

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増減	平成25年3月期 (予想)	平成24年3月期	増減
売上高	9,983	9,614	△369	20,200	19,479	721
営業利益	540	245	△296	650	607	43
経常利益	490	189	△300	620	507	113
四半期(当期)純利益	△27	△131	△104	100	56	44
1株当たり四半期(当期)純利益	△1円66銭	△8円02銭	△6円36銭	6円12銭	3円42銭	2円70銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	△0.5%	△2.8%	△2.3%	2.1%	1.1%	1.0%
平均為替レート(円/＄)	79.75	79.41	—	80.00	79.08	—
ナフサ価格(円/KL)	57,000	55,100	—	55,000	54,900	—

## 2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増減	平成25年3月期 (予想)	平成24年3月期	増減
基礎化学	売上高	1,523	1,329	△195	2,800	2,843	△43
	営業利益	125	△26	△151	△20	93	△113
石油化学	売上高	3,410	3,432	22	7,100	6,724	376
	営業利益	78	△2	△80	10	62	△52
情報電子化学	売上高	1,486	1,440	△45	3,100	2,931	169
	営業利益	101	24	△77	150	110	40
健康・農業 関連事業	売上高	1,385	1,198	△187	2,800	2,641	159
	営業利益	148	77	△71	320	265	55
医薬品	売上高	1,932	1,943	11	3,800	3,805	△5
	営業利益	155	231	77	330	209	121
その他	売上高	247	272	26	600	534	66
	営業利益	35	42	7	70	77	△7
全社費用等	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△101	△102	△1	△210	△209	△1
合計	売上高	9,983	9,614	△369	20,200	19,479	721
	営業利益	540	245	△296	650	607	43

### 3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減
売 上 高	9,983	9,614	△369
営 業 利 益	540	245	△296
持 分 法 投 資 損 益	10	14	4
為 替 差 損 益	△38	△37	1
そ の 他	△22	△32	△9
経 常 利 益	490	189	△300
投 資 有 価 証 券 評 価 損	-	△27	△27
事 業 構 造 改 善 費 用	△10	△22	△13
持 分 法 投 資 損 失 ( ※ )	△289	-	289
そ の 他	15	△4	△19
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	206	136	△70
法 人 税 等	△139	△188	△49
少数株主損益調整前四半期純損益(△は損失)	67	△52	△119
少 数 株 主 利 益	△94	△79	15
四 半 期 純 損 失	△27	△131	△104

(※) 関係会社のれん相当額一時償却

### 4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成24年3月期末 現 在	平成25年3月期 第2四半期末 現 在	増 減		平成24年3月期末 現 在	平成25年3月期 第2四半期末 現 在	増 減
( 資 産 の 部 )				( 負 債 の 部 )			
流 動 資 産	11,021	10,753	△267	支 払 手 形 及 び 金 買 掛 金	2,278	2,245	△33
現 金 及 び 預 金	686	871	185	有 利 子 負 債	10,530	10,874	344
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	4,109	3,755	△354	そ の 他	3,353	3,303	△50
た な 卸 資 産	3,824	3,952	128	負 債 合 計	16,161	16,422	261
そ の 他	2,402	2,175	△226	( 純 資 産 の 部 )			
固 定 資 産	12,349	12,663	314	株 主 資 本	5,897	5,723	△174
有 形 固 定 資 産	5,949	6,151	203	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△1,034	△1,064	△29
無 形 固 定 資 産	1,422	1,752	330	少 数 株 主 持 分	2,347	2,335	△12
投 資 そ の 他 の 資 産	4,978	4,759	△219	純 資 産 合 計	7,209	6,994	△215
資 産 合 計	23,370	23,416	47	負 債 ・ 純 資 産 合 計	23,370	23,416	47

## 5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増減	平成24年3月期
営業キャッシュ・フロー	572	618	47	1,245
投資キャッシュ・フロー	△601	△1,048	△447	△1,240
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△30	△430	△400	5
財務キャッシュ・フロー	△26	261	287	21
その他の	4	4	1	△30
現金及び現金同等物の増減	△52	△164	△113	△4



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長 (氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	961,383	△3.7	24,481	△54.7	18,948	△61.3	△13,114	—
24年3月期第2四半期	998,281	0.9	54,035	1.9	48,993	△6.0	△2,713	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △11,511百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 4,653百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△8.02	—
24年3月期第2四半期	△1.66	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,341,617	699,435	19.9
24年3月期	2,336,953	720,901	20.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 465,945百万円 24年3月期 486,235百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	3.00	9.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期の期末配当予想額については未定です。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,020,000	3.7	65,000	7.1	62,000	22.3	10,000	79.0	6.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。

詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,655,446,177 株	24年3月期	1,655,446,177 株
25年3月期2Q	20,817,879 株	24年3月期	20,795,141 株
25年3月期2Q	1,634,639,382 株	24年3月期2Q	1,634,683,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。なお、業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報等.....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ369億円減少し、9,614億円となりました。損益面では、営業利益は245億円、経常利益は189億円、また、四半期純損益につきましては、131億円の損失となり、それぞれ前年同四半期を下回りました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき6円として実施させて頂くことといたしました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

#### (基礎化学)

合成繊維原料やメタアクリルは市況の下落に加え、出荷も減少しました。また、アルミニウムは市況の下落により、販売が減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ195億円減少し1,329億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ151億円悪化し26億円の損失となりました。

#### (石油化学)

前年にサウジアラビアのペトロ・ラービグ社において定期修繕があり、出荷が低水準であったことから、販売子会社の出荷が増加しました。一方、海外市況の低迷や国内外の需要減少により、シンガポールや国内の石油化学品および合成樹脂の販売は減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ22億円増加し3,432億円となりましたが、営業損益は前年同四半期に比べ80億円悪化し2億円の損失となりました。

#### (情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムの出荷は増加しましたが、カラーフィルターの出荷は減少しました。また、偏光フィルム、カラーフィルターともに、販売価格が下落しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ45億円減少し1,440億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ77億円減少し24億円となりました。

#### (健康・農業関連事業)

農薬は海外での除草剤の出荷が引き続き堅調に推移しましたが、海外子会社の決算期変更による季節差の影響により、販売が減少しました。オリセットネット（長期残効性防虫蚊帳）や医薬化学品は需要の減少により出荷が減少しました。また、メチオニン（飼料添加物）は市況が軟化しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ187億円減少し1,198億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ71億円減少し77億円となりました。

#### (医薬品)

国内では、アバプロ（高血圧症治療剤）やロナセン（非定型抗精神病薬）、トレリーフ（パーキンソン病治療剤）に加え、メトグルコ（ビグアナイド系経口血糖降下剤）が大きく伸長しましたが、薬価改定の影響が大きく、販売が減少しました。一方、北米では独占期間の満了を迎えたゾペネックス（短時間作用型β作動薬）の出荷は減少しましたが、ラツータ（非定型抗精神病薬）やルネスタ（催眠鎮静剤）の出荷が順調に推移したうえ、導出にかかるマイルストーン収入等があったため、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ11億円増加し1,943億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ77億円増加し231億円となりました。

#### (その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ26億円増加し272億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ7億円増加し42億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ47億円増加し2兆3,416億円となりました。受取手形及び売掛金は減少しましたが、子会社の大日本住友製薬株式会社による米国のポストン バイオメディカル インコーポレーテッドおよびエレベーション ファーマシューティカルズ インコーポレーテッド(現サノビオン レスピラトリー ディベロップメント インコーポレーテッド) 買収により、無形固定資産(その他)に含まれる仕掛研究開発等が増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ261億円増加し、1兆6,422億円となりました。流動負債(その他)に含まれる未払金が減少しましたが、固定負債(その他)に含まれる繰延税金負債等が増加しました。また、有利子負債(短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く)は前連結会計年度末に比べ344億円増加し、1兆874億円となりました。

純資産(少数株主持分を含む)は、利益剰余金の減少や、その他有価証券評価差額金等のその他の包括利益累計額が悪化したことにより、前連結会計年度末に比べ215億円減少し6,994億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.9ポイント低下し、19.9%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績見通しにつきましては、平成24年7月31日公表の平成25年3月期通期業績予想を下記の通り修正しております。

平成25年3月期通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	2,050,000	80,000	75,000	30,000
今回修正予想	2,020,000	65,000	62,000	10,000
増減額	△30,000	△15,000	△13,000	△20,000

また、当期の期末配当予想につきましては、通期の業績予想を修正したことにより、現時点では「未定」(前回予想3円)とし、下半期および次期の業績動向を総合的に勘案した上で、改めて公表いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。



## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

・有形固定資産の減価償却方法の変更

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、一部の連結子会社は定率法を採用していましたが、今後は子会社において海外売上高が拡大していくことが見込まれることから、重要性が高まる海外連結子会社が採用する減価償却方法との整合をはかるため、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更することといたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ664百万円増加しております。

(4) 追加情報

・連結納税制度の適用

当社および一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	68,601	87,119
受取手形及び売掛金	410,906	375,467
有価証券	102,221	85,462
商品及び製品	287,088	290,765
仕掛品	12,864	13,152
原材料及び貯蔵品	82,440	91,304
その他	139,199	133,327
貸倒引当金	△1,233	△1,247
流動資産合計	1,102,086	1,075,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	205,553	209,778
機械装置及び運搬具(純額)	215,715	236,778
その他(純額)	173,610	168,572
有形固定資産合計	594,878	615,128
無形固定資産		
のれん	69,323	72,235
その他	72,855	102,989
無形固定資産合計	142,178	175,224
投資その他の資産		
投資有価証券	364,356	344,867
その他	134,494	132,088
貸倒引当金	△1,039	△1,039
投資その他の資産合計	497,811	475,916
固定資産合計	1,234,867	1,266,268
資産合計	2,336,953	2,341,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,770	224,499
短期借入金	225,226	199,723
1年内償還予定の社債	25,000	40,000
コマーシャル・ペーパー	120,000	89,000
未払法人税等	13,998	13,546
引当金	49,254	49,819
その他	181,469	157,152
流動負債合計	842,717	773,739
固定負債		
社債	372,000	367,000
長期借入金	310,741	391,682
退職給付引当金	31,999	32,359
その他の引当金	13,284	15,414
その他	45,311	61,988
固定負債合計	773,335	868,443
負債合計	1,616,052	1,642,182
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	485,027	467,670
自己株式	△8,764	△8,769
株主資本合計	589,657	572,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,922	39,874
繰延ヘッジ損益	684	562
土地再評価差額金	4,130	4,130
為替換算調整勘定	△157,158	△150,916
その他の包括利益累計額合計	△103,422	△106,350
少数株主持分	234,666	233,490
純資産合計	720,901	699,435
負債純資産合計	2,336,953	2,341,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	998,281	961,383
売上原価	715,097	712,099
売上総利益	283,184	249,284
販売費及び一般管理費	229,149	224,803
営業利益	54,035	24,481
営業外収益		
受取利息	890	988
受取配当金	2,810	2,772
持分法による投資利益	1,026	1,383
雑収入	5,004	3,670
営業外収益合計	9,730	8,813
営業外費用		
支払利息	6,141	6,392
コマーシャル・ペーパー利息	59	42
為替差損	3,821	3,747
雑損失	4,751	4,165
営業外費用合計	14,772	14,346
経常利益	48,993	18,948
特別利益		
有形固定資産売却益	1,235	—
投資有価証券売却益	247	—
特別利益合計	1,482	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,662
事業構造改善費用	985	2,236
減損損失	—	416
持分法による投資損失	28,854	—
特別損失合計	29,839	5,314
税金等調整前四半期純利益	20,636	13,634
法人税等	13,903	18,817
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,733	△5,183
少数株主利益	9,446	7,931
四半期純損失(△)	△2,713	△13,114

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	6,733	△5,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,605	△12,806
繰延ヘッジ損益	△41	△140
為替換算調整勘定	1,999	5,173
持分法適用会社に対する持分相当額	1,567	1,445
その他の包括利益合計	△2,080	△6,328
四半期包括利益	4,653	△11,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,836	△17,208
少数株主に係る四半期包括利益	8,489	5,697

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,636	13,634
減価償却費	52,671	55,785
のれん償却額	3,897	3,711
減損損失	—	416
持分法による投資損益(△は益)	32,057	433
引当金の増減額(△は減少)	3,601	3,039
受取利息及び受取配当金	△3,700	△3,760
支払利息	6,200	6,434
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,662
事業構造改善費用	353	1,181
売上債権の増減額(△は増加)	10,104	46,733
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,565	△9,658
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,695	△7,125
その他	△16,827	△37,118
小計	76,732	76,367
利息及び配当金の受取額	3,394	3,385
利息の支払額	△6,104	△6,278
法人税等の支払額	△16,860	△11,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,162	61,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△22,065	△29,890
有価証券の売却及び償還による収入	25,022	19,091
投資有価証券の取得による支出	△6,116	△7,222
投資有価証券の売却及び償還による収入	868	809
固定資産の取得による支出	△58,689	△56,378
固定資産の売却による収入	2,055	231
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△23,882
その他	△1,190	△7,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,115	△104,821

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,790	6,869
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△19,000	△31,000
長期借入れによる収入	65,310	109,398
長期借入金の返済による支出	△18,584	△61,291
社債の発行による収入	27,081	25,000
社債の償還による支出	△10,984	△15,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△576	△545
自己株式の取得による支出	△12	△6
配当金の支払額	△9,814	△4,907
少数株主への配当金の支払額	△5,057	△2,899
少数株主からの払込みによる収入	3,848	524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,578	26,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	376	429
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,155	△16,412
現金及び現金同等物の期首残高	151,609	147,051
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△71	1,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	146,383	131,797

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はない。



## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	152,320	340,993	148,588	138,521	193,181	973,603	24,678	—	998,281
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,820	4,274	2,449	2,901	3	17,447	28,062	△45,509	—
計	160,140	345,267	151,037	141,422	193,184	991,050	52,740	△45,509	998,281
セグメント利益	12,524	7,795	10,083	14,778	15,456	60,636	3,502	△10,103	54,035

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△10,103百万円には、セグメント間取引消去△91百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△10,012百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	132,855	343,186	144,043	119,786	194,272	934,142	27,241	—	961,383
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,779	2,618	2,028	1,988	—	13,413	28,269	△41,682	—
計	139,634	345,804	146,071	121,774	194,272	947,555	55,510	△41,682	961,383
セグメント利益 又は損失(△)	△2,586	△218	2,402	7,728	23,129	30,455	4,195	△10,169	24,481

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△10,169百万円には、セグメント間取引消去275百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△10,444百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

医薬品セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、416百万円を減損損失に計上している。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はない。